

平成 2 7 年度 群馬県立産業技術センターの利用に関する  
アンケート調査 結果報告書

平成 2 9 年 1 月

群馬県立産業技術センター

## 1 調査概要

### (1) 目的

群馬県立産業技術センター（群馬産業技術センター及び東毛産業技術センター。以下、「産業技術センター」という。）のより一層の利便性の向上を図るため、利用企業に対してアンケート調査を実施した。

### (2) 調査対象

平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）に産業技術センターの技術支援（依頼試験、機器開放）を利用した企業。

### (3) 調査方法

平成28年9月～10月にかけて、「調査票」をFAX（一部企業は郵送）により送付し、FAXにより回答してもらう。

### (4) 調査実施数

調査依頼数、回答数及び回答率は、次のとおりであった。

| 技術支援項目           | 調査依頼数   | 回答数  | 回答率   |
|------------------|---------|------|-------|
| ・ 依頼試験<br>・ 機器開放 | 1, 579人 | 282人 | 17.9% |

### (5) 結果概要

アンケート調査の結果、平成27年度の利用企業のうち目的を達成できた企業の割合は、「十分達成できた」と「ある程度達成できた」を合わせると88.2%（前年度83.8%）、「手がかりがつかめた」を加えると99.3%（前年度99.5%）となり、ほぼ全ての利用企業にメリットがあったと考えられる。

また、アンケートに基づいて算出した利用企業への経済効果は1企業あたり約398万円となり、平成27年度の当センター利用企業数（依頼試験、機器開放）が1,157社であることを踏まえると、全体では数十億円規模の経済効果が推計される。

今後も産業技術センターを利用したいと考えている企業の割合は、「積極的に利用したい」と「必要があるときに利用したい」を合わせると99.3%（前年度99.2%）であり、ほぼ全ての利用企業が再度利用したいと考えている。

## 2 調査結果

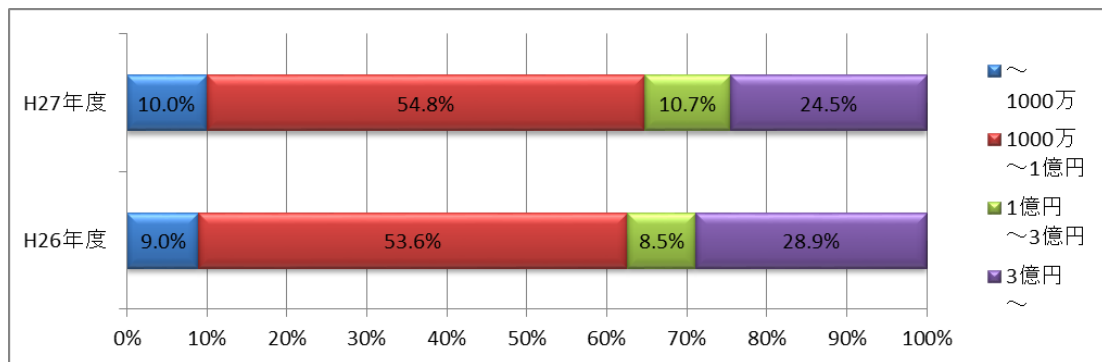
### (1) 利用企業の資本金・従業員数等について

- ・利用企業の資本金は「3億円未満」が75.5%、従業員数は「300人未満」が75.5%であり、全体の3/4程度が中小企業の利用となっている。
- ・産業技術センターの利用は、「ほぼ毎年利用している」と「前に利用したことがある」を合わせると81.5%（前年72.9%）であり、昨年に比べてリピーターの割合が増加している。

内訳は、次のとおりであった。

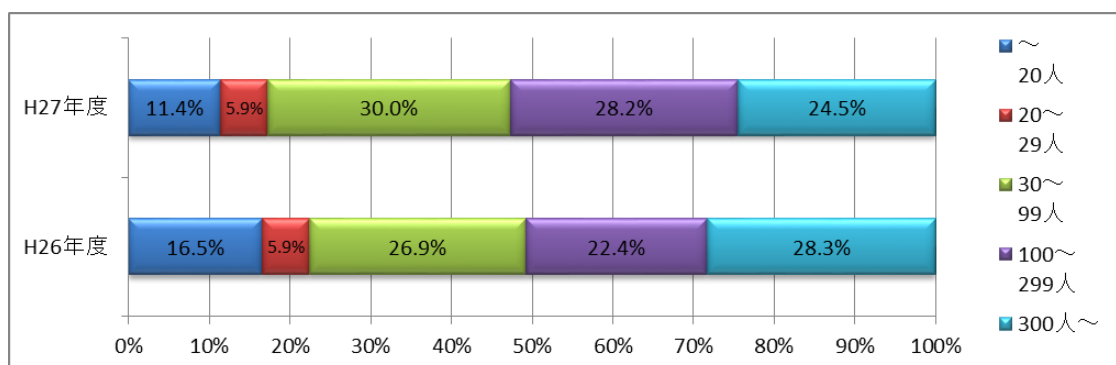
#### ① 資本金について

- |              |       |                  |       |
|--------------|-------|------------------|-------|
| 1. 1,000万円未満 | 10.0% | 2. 1,000万円～1億円未満 | 54.8% |
| 3. 1億円～3億円未満 | 10.7% | 4. 3億円以上         | 24.5% |



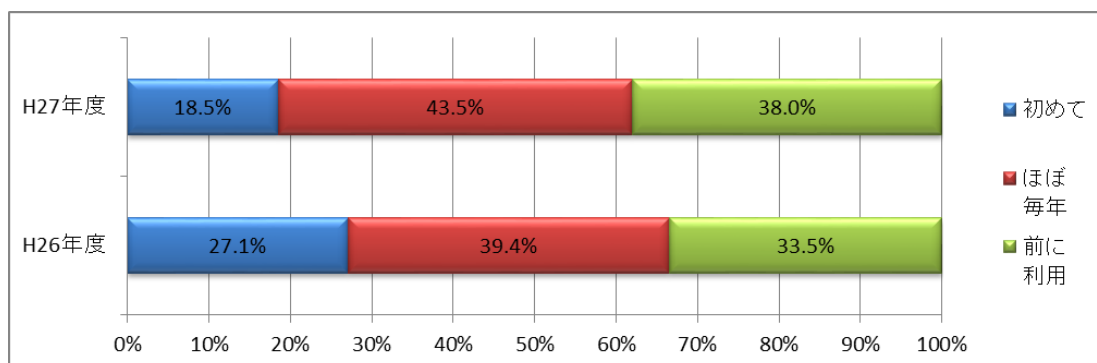
#### ② 従業員数について

- |             |       |           |       |           |       |
|-------------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| 1. 20人未満    | 11.4% | 2. 20～29人 | 5.9%  | 3. 30～99人 | 30.0% |
| 4. 100～299人 | 28.2% | 5. 300人以上 | 24.5% |           |       |



③産業技術センターの利用について

1. 平成27年度が初めて 18.5%
2. ほぼ毎年利用 43.5%
3. 前に利用したことがある 38.0%



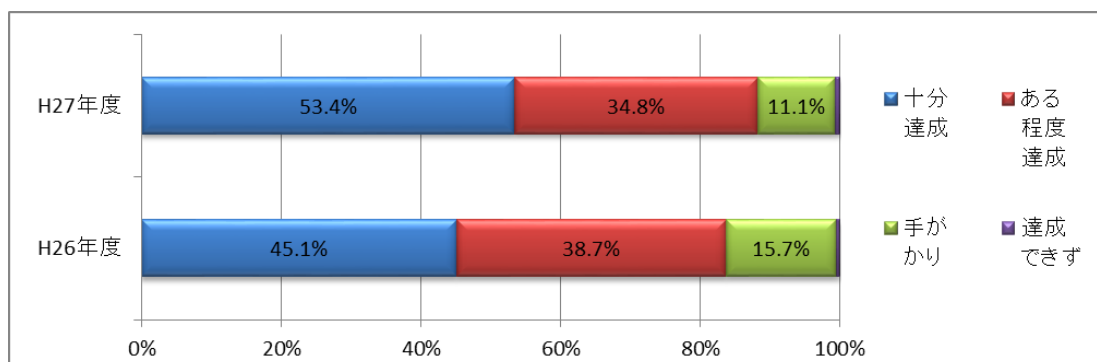
(2) 利用企業の目的達成度について

- ・ 目的を達成できた企業の割合は「十分達成できた」と「ある程度達成できた」を合わせると88.2%、「手がかりがつかめた」を加えると99.3%であり、ほぼ全ての利用企業にメリットがあった。
- ・ アンケートに基づいて試算した利用企業あたりの経済効果は約398万円／企業 となり、利用企業全体では数十億円の経済効果が推計される。

内訳は、次のとおりであった。

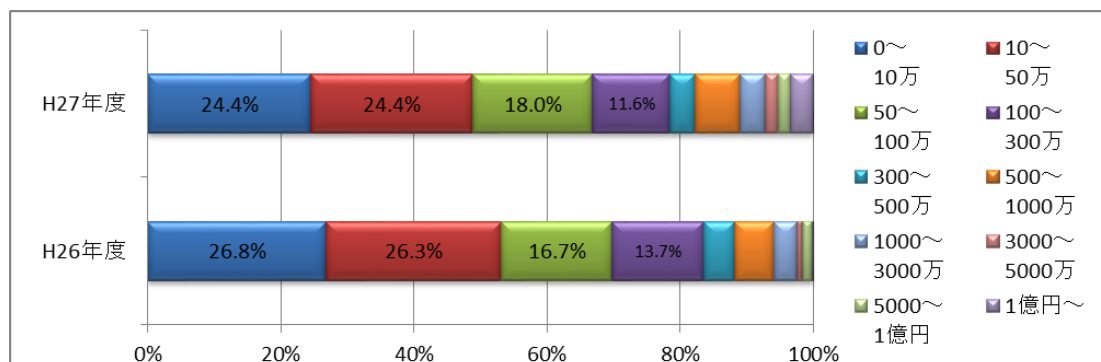
①目的達成度について

1. 十分達成できた 53.4%
2. ある程度達成できた 34.8%
3. 手がかりがつかめた 11.1%
4. 達成できなかった 0.5%



## ②利用企業が得られた経済効果について

|                    |       |                    |       |
|--------------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 0～10万円未満        | 24.4% | 2. 10～50万円未満       | 24.4% |
| 3. 50～100万円未満      | 18.0% | 4. 100～300万円未満     | 11.6% |
| 5. 300～500万円未満     | 3.8%  | 6. 500～1000万円未満    | 6.8%  |
| 7. 1,000～3,000万円未満 | 3.8%  | 8. 3,000～5,000万円未満 | 1.9%  |
| 9. 5,000万円～1億円未満   | 1.9%  | 10. 1億円以上          | 3.4%  |



上記結果に基づいて算出した利用企業への経済効果は、1企業あたり約398万円となり、平成27年度の当センター利用企業数（依頼試験、機器開放）が1,157社であることを踏まえると、全体では数十億円規模の経済効果が推計される。

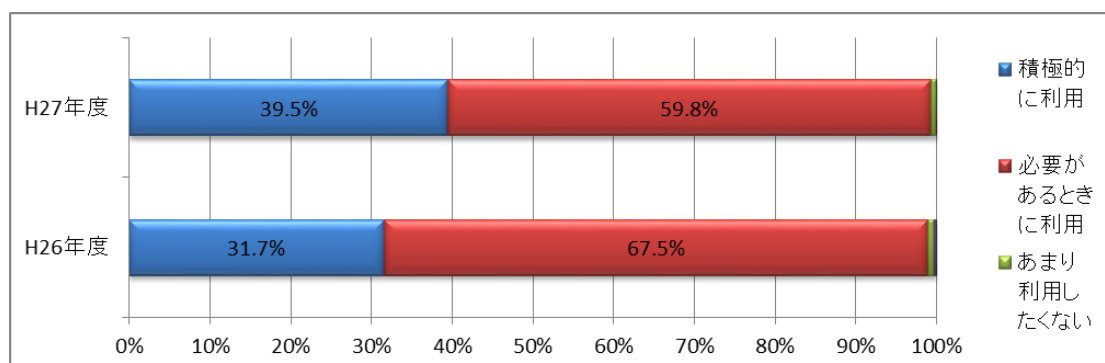
③未達成の理由については、「現在、利用を継続中」、「今後、商品化・販売」などの回答があった。

## （３）今後の産業技術センターの利用について

・今後も利用したいと考えている企業の割合は、「積極的に利用したい」と「必要があるときに利用したい」を合わせると99.3%であり、ほぼ全ての利用企業が再度利用したいと考えていた。

内訳は次のとおりであった。

|               |       |                  |       |
|---------------|-------|------------------|-------|
| 1. 積極的に利用したい  | 39.5% | 2. 必要があるときに利用したい | 59.8% |
| 3. あまり利用したくない | 0.7%  | 4. 利用したくない       | 0.0%  |



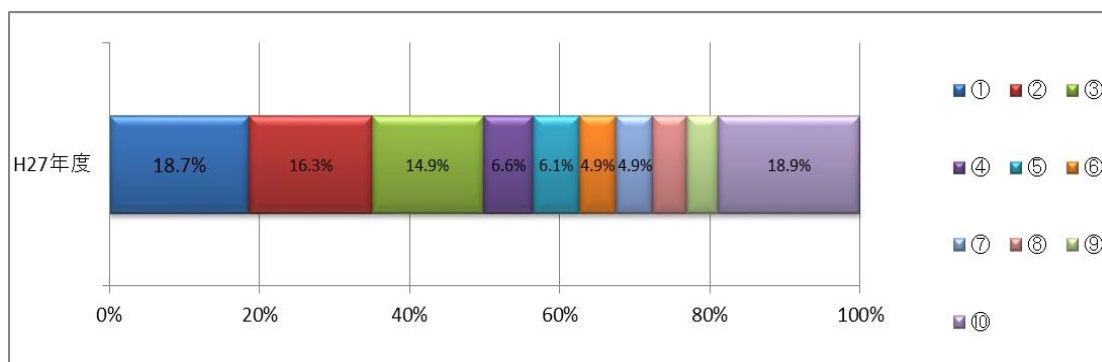
あまり利用したくない理由については、「県外の割増料金の目的が分からない」「費用が高すぎる」などの回答があった。

#### (4) 今後、産業技術センターに強化、充実してほしい技術分野について

・要望の多い技術分野は、「環境試験・耐久試験・物性試験」、「機械計測・精密測定」、「化学分析・機器分析」の順であった。

内訳は次のとおりであった。

1. 環境試験・耐久試験・物性試験 18.7%
2. 機械計測・精密測定 16.3%
3. 化学分析・機器分析 14.9%
4. 機械加工・精密加工・レーザー加工 6.6%
5. 表面処理（メッキ・塗装・蒸着・溶射） 6.1%
6. 電磁・光計測 4.9%
6. 金属材料・セラミック材料・樹脂材料・複合材料 4.9%
8. 立体造形・CAD／CAM／CAE 4.5%
9. 発酵食品・機能性食品・食品加工・食品安全・植物工場 4.2%
10. その他 18.9%

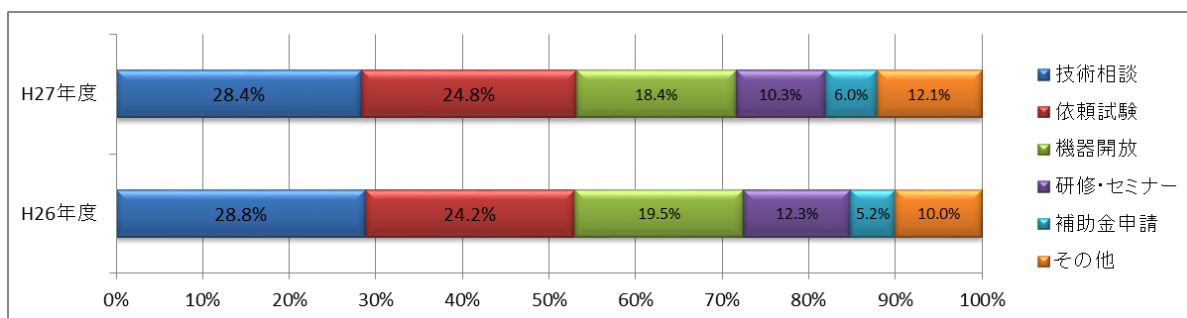


#### (5) 強化・充実して欲しい業務について

・要望の多い業務分野は、「技術相談」、「依頼試験」、「機器開放」、「研修・セミナー」の順であった。

内訳は次のとおりであった。

- |          |       |            |       |
|----------|-------|------------|-------|
| 1. 技術相談  | 28.4% | 2. 依頼試験    | 24.8% |
| 3. 機器開放  | 18.4% | 4. 研修・セミナー | 10.3% |
| 5. 補助金申請 | 6.0%  | 6. その他     | 12.1% |



(6) センターの設備で利用して良かった設備や今後充実して欲しい設備

- ・利用して良かった設備は、分類別で機器分析、材料物性、機械計測の順であった。
- ・今後充実して欲しい設備は、分類別で機器分析、電磁計測、環境試験の順であった。

全体で144件の意見・要望等があり、主なものは次のとおりであった。

＜良かった設備（分類別）＞

- ・機器分析（19件）
- ・材料物性（17件）
- ・機械計測（13件）
- ・環境試験（10件）
- ・電磁計測（10件）
- ・形態観察（7件）
- ・振動・衝撃・落下関連（7件）
- ・非破壊試験（7件）
- ・その他（34件）

＜今後充実して欲しい設備（分類別）＞

- ・機器分析（12件）
- ・電磁計測（10件）
- ・環境試験（6件）
- ・CAD／CAM／CAE（5件）
- ・機械加工（5件）
- ・非破壊試験（4件）
- ・機械計測（4件）
- ・その他（26件）

(7) 産業技術センターの取り組み姿勢等に対する意見・要望等について

- ・ハード面では、試験・分析機器の充実や新たな分野への対応を要望する声が多くあった。
- ・ソフト面では、機器分析のセミナー開催、分析等の結果を受けてのアドバイスを求める声が多くあった。

全体で77件の意見・要望等があり、主なものは次のとおりであった。

- ・試験・分析機器の充実（24件）
- ・対応してほしい分野（15件）
- ・全般的な要望に関するもの（10件）
- ・職員等への感謝・激励の言葉（8件）
- ・セミナーの開催や情報提供（7件）
- ・職員の対応に関するご意見（7件）
- ・利用料（試験手数料・機器使用料）に関するもの（5件）
- ・産学官の連携に関するもの（1件）

(8) 本調査結果の活用について

本調査は群馬県立産業技術センター第五期中期計画（平成27～29年度）に基づいて毎年度実施するものであり、寄せて頂いた意見・要望等については、産業技術センター全体で共有・検討し、より一層の利便性向上のための対策を行っていく。